

## 足羽川ダム建設事業環境影響評価技術検討委員会 第2回検討会資料

## 第1回検討会での委員からの指摘の概要と対応方針

指摘の概要	対応方針
<b>使用文献について</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>確認された文献については、原則的に使用すべき。</li> <li>分布疑問種の多い文献は使用しないほうがよい。</li> </ul>	<p>原則的に確認された文献はすべて使用する。</p> <p>ただし、委員の指摘のあった分布疑問種の多い文献は使用しない。(専門家の指摘により使用しない旨を注釈に記載)</p>
<b>確認種リストの整理方法について</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>文献に記載されている種は基本的にそのままリストに整理する。</li> <li>文献調査の確認種で、当該地域における分布に疑問のもたれる種がある。</li> </ul>	<p>文献記載種は原則的にそのままリストに整理する。ただし、絶滅種、移入種等については、その旨を注釈に記載する。なお、文献のみの確認で、当該地域での生息・生育の可能性が低い種については予測対象外とする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>現地で確認されていない文献のみの確認種で、調査地域内にも広く分布していると考えられる種がある。</li> <li>文献および現地で確認されていないが、調査地域に生息する可能性のある種がある。</li> </ul>	<p>追加調査が必要か検討する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>現地調査の確認種で、当該地域における分布に疑問のもたれる種がある。</li> </ul>	<p>分布疑問種については確認状況や同定根拠を整理する。(一部の種については、別途専門家への同定を依頼する)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>科の一種など、種を確定できていないものはリストに載せなくてもよいのではないか。</li> <li>種としてカウントはしないが、リストに載せておくという考え方もある。</li> </ul>	<p>リストの作成時には、種まで判別できなかったものについても整理する。なお、予測は基本的に種まで判別できているものを対象とするが、分類群ごとに詳細は検討する。</p>
<b>その他の意見</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>重要種だけでは保全の対象から漏れる種が出てくる。夜行性種や樹上性種を対象とした生態系の検討も必要ではないか。</li> </ul>	<p>典型性の中で検討を行う。現在確認されている種から食物連鎖を想定し、適宜予測・評価を行うこととする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>足羽川の、水温が低く溪流的な環境を特殊性として扱えないか。</li> <li>特殊性として、既に改変された地域は選定できないか。</li> </ul>	<p>特殊性は、現在のアセスの制度では、湿原や湧水などの環境を扱うこととしている。</p> <p>足羽川の、水温が低く溪流的という生息環境の特徴については、調査地域に広く分布しているため典型性として検討を行う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>移入種は保全の対象にしなくてもよいのではないか。</li> </ul>	<p>移入種は基本的に予測評価の対象としない。</p>